

子どもに「わかりやすく」伝えよう

いつも子育てを頑張っているのに、言うことを聞いてくれず、ついイライラして怒ってしまったり、思いどおりにいかないことはたくさんあります。

ゆっくり、ゆったり子育てができるように、お子さんへの「わかりやすい」声のかけかたについて、一緒に考えてみましょう。



□ 子どもの目を見て

→台所からリビングに向かって声をかけたり、子どもの後ろから話しかけても、伝わりにくいです。

□ 肯定的に、具体的に

→「～しちゃダメ」ではなく、「～しようね」と、肯定的に伝えるよう、声のかけ方を工夫しましょう。

□ やさしい口調で

→イラっとしてしまうこともあるけれど…一呼吸して、気持ちを落ち着かせてから声をかけましょう。

伝わりにくい例



伝わりやすい例



認定心理士・保育士
新保 真理さん

子育ては、『**子育て**(子どもが自ら学び・育つ力)』を手助けすること。子どもだって、『**親育ち**(親が自ら学び・育つ力)』を助けているといえるかもしれませんね。

親と子が気持ちを通わせあいながら、一緒に育っていくことができれば素敵ですね。まずは、子どもとゆる～く向き合ってみることをお勧めします。

『**ゆっくり子育て学び塾**
～イヤイヤ期を乗り切る方法～』
時 1月24日(金) 師 新保 真理さん
(詳しくは6ページへ)

問 健やかほうふ21計画(第二次)
推進委員会事務局
【市保健センター・☎24-2161】